

ふくろう新聞



社会福祉法人
ひょうご聴覚障害者
福祉事業協会
<発行>
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
〒656-0002
洲本市中川原町中川原28番地1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551
ホームページリニューアルしました。順次更新していきますので、よろしくお願ひ致します。

「月刊DAY」の公募した小林寶二さん(91歳)の作品です。優性保護法被害者として差別のない社会を求め3月23日には大阪高裁で勝訴。国は最高裁に上告。6月1日仙台高裁は憲法違反を認める一方で国家賠償請求は棄却。不当判決を許さぬ取り組みと早期の政治解決を。



市営住宅からお掃除委託

地域のなかで

「神戸長田ふくろうの杜」の役割を

神戸長田ふくろうの杜は神戸市長田区にあります。長田区は市内でも一、二を争う高齢者の多い地域です。高齢化率80%を越す市営住宅が2棟あり、その一棟がふくろうの杜の東隣にあります。

その市営住宅から頼まれた人が高齢になり、引き継いでくれる人を探しておられてふくろうの杜にお声かけくださったのです。嬉しいお話です。もちろん、迷うことなくお受けし、就労継続B型事業と生活介護事業で担うことが決まりました。

片付け、市営住宅を取り囲む花壇の水やりです。初めてのことで、手際よくとは行きませんが、無事に終わることができました。今後、反省や工夫を重ねて、一日も早く、「ふくろうの杜」に任せて良かった」と住民の皆さんに喜んでいただけるように頑張ります。

「一人一人を大切に 共に生きる地域社会」
法人理念の実現へ一歩踏み出せる機会を頂いた気がして、非常に嬉しく思いました。

「地域交流の場も」
ところで、今回のお話を繋いでくださった中筋さまは、長年この住宅で世話役をされており、私たちが月に2回、参加する「防災人工川」のお掃除や、夜の防犯パトロールにも取り組まれている「細田神楽まちづくり協議会」役員でもあります。中筋さまは、「月一回開いていた住民交流会もお世

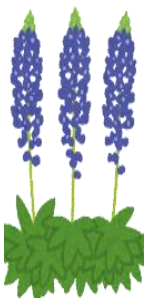
話できる人がいなくなつた。住宅だけでなくこの辺り全体が高齢化している。ふくろうの杜さんが、交流できる場を作って、続けてもらえれば嬉しい」と常々おっしゃっています。



▲神楽住宅 月・木(週2回) ゴミ収集日に 清掃・花壇の水やり

話を聞きました。5月に前任者からお掃除の仕方や段取りを見せただき、6月1日からスタートしました。1階エレベーター付近のエントランスや自転車置き場、ゴミ収集の後のコンテナの

（神戸長田ふくろうの杜 施設長 眞木崇江）



「神戸長田ふくろうの杜」 3周年記念イベント

日程：令和5年11月25日(土) 午後～
場所：長田ピフレホール

令和2年11月に開所しましたが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、見学や交流をお断りしてきました。

今回、皆様に感謝の気持ちと、同時に「元気なふくろうの杜」をお伝えしたく、イベントを計画しています。乞うご期待!!

おのころの家 洲本市より 公衆便所清掃業務委託

今年、4月よりコモード56(週5日)市営洲本IC駐車場(週3日)清掃業務を受託し、利用者と職員が市民の皆さんに喜んでもらえるように清掃に励んでいます。



ふくろう物語 井上 剛文様

昭和19年12月17日兵庫県三木市生まれの79歳です。兄と弟がいますが、弟は他界されています。

本人さまと甥御さま、友人の澤谷さまに話を伺いました。両親は満州引き上げ船で命からがら日本へ帰って来られました。父政夫さまは軍人で、生前戦争で悲惨な体験をしましたが、戦後、商才があり金物の商売を一代で築き上げました。



▶笑顔が素敵な井上さん

母さまのさまは、耳の聞こえない剛文さまをろう学校へ通わせました。自身ががんに侵されながらも死の間際まで剛文さまの面倒を見、弟にすべてを託して他界されました。

人柄を知る澤谷菊代さん

(元三木ろうあ協会会長)

剛文さまは友達と過ごしていく中で手話ができるようになっていきました。

神戸ろう学校を卒業して、紳士服の仕立ての仕事の就いたものの、長続きはしませんでした。当時を知るご友人の澤谷菊代さまによると、「家業の金物の仕事を手伝うこともあったようだけど、家で過ごしていることが多かった。こもってばかりいないうち引つ張り出して手話教室の講演の手伝いなどしてもらったこともある。三木ろうあ協会では書記を務めていた。おとなしく付いてくるような性格だった。」

◀ 60年前の修学旅行(九州)



本人は結婚を考えたこともありましたが、兄の猛烈な反対があり、今も独身です。三木ろうあ協会の行事に参加したり、手話サークルとの交流を楽しみました。歳を重ねるごとに自宅で過ごすことが多くなりました。家族の介護負担が増えるようになりました。

淡路ふくろうの郷へ

淡路ふくろうの郷のショートステイを経て令和5年

～季節の便り～

高知県の中芸手話サークルぬくもりで活躍されている上村由子様より今回はジャガイモが届きました。調理職員が腕をふるって食卓に届けてくれる予定です！いつも変わらぬご支援ありがとうございます。



1月2日に入居されました。穏やかでいつも笑顔で丁寧な一人ずつ深々とお辞儀をして挨拶をしてくださいました。うちに伺っております。

三木での生活を思い出されるように椅子に腰をかけた景色を眺められることもあります。又、ろうあ協会の活動の手伝いが必要だから自分が行かないといけないと話されることもあります。ですが、少しずつここでの暮らしに慣れて、ご自身のペースでゆったりと過ごされていきます。ご家族様よりお辛いことも多い人生を過ごされたように伺っております。

今後は地元三木の仲間も入居されており、昔話に花を咲かせて手話での会話を楽しんだり、気軽に外出できるようにすれば、里帰りやご友人との再会ができるようお手伝いさせていただきます。と思っています。(生活援助係 中村茂男)

職員研修

「淡路聴覚障害者センターのあゆみ」

4月25日(火)職員研修「淡路聴覚障害者センターのあゆみ」について職員の吉川稔さん・辻愛子さんから話を聞きました。

【職員の感想】

○多くの人が集い様々な問題が表面化し、それに対して活動されてこられた。拠点がなければ問題や課題が埋もれてしまい、何の解決にも繋がらない。拠点の重要性を実感しました。

○これまでのあゆみは大変わかりやすく、又、実際に支援に関わった吉川さんの話を重く受け止めることができました。色々とご苦労があり実状を見て活動されてきたことにとっても尊敬します。自分としては小さなことでもできることは何かを考えながらこ

れからも仕事していきたいと思っています。

○淡路聴覚障害者センター、おのころ家などを設立するために尽力された方々に敬意を表したい。人々が集える場所ができて、いろいろなことを話したり相談したりできるようになった経緯や今の業務の大変さを聞くことができました。以前、お聞きした稲淳子氏の話を思い浮かべ当事者だけでなく、その周りの状況も踏まえて物事を捉えることで、誰もが生きやすい環境作りについても考えていきたいと思いま

H7年 阪神・淡路大震災が起こる



不運をチャンスに！
手話通訳派遣制度検討委員会休止
淡路聴覚障害者センター設立のきっかけとなった

平成9年6月淡路聴覚障害者センター開設
淡路聴覚障害者協会が行政(1市10町)より事業の委託を受ける



平成12年4月
洲本市健康福祉館に移転
平成18年4月
法人の組織に入る



～ 美味しいプリン作り！～

ユニットレク(花木ユニット)

5月16日(火)花木ユニットで、おやつレクを実施しました。今回はプリン作りをしました。エプロン、三角巾を着用すると女性の入居者さまはやる気スイッチが入ったよう嬉しそうなお表情をされていました。



▲果物を細かく切る夜久さま

作業はプリンの粉と牛乳を鍋に入れて火にかけながら混ぜてもらったり、フルーツをカットしてもらいました。しばらく混ぜると皆さま「いいにおいやなー」と笑みがこぼれていました。お皿に入れて1時間程冷やし、最後に生クリームとフルーツをトッピングして完成です。皆さま、「甘くておいしい。」とパクパクと食べられていました。また、その日久野さまのお誕生日ということもあり、プレゼントをお渡ししてみんなでお祝いすることができました。

またおやつレクを実施して、楽しい時間を過ごしていただければと思います。

(生活援助員 船越 愛)



▶プリンの完成!!



▶プリンの粉と牛乳を火にかけ混ぜる
藤本さま

7月 ふくろうの暮らし

- 7/ 3(月) ふくろう理髪店
- 7/ 4(火) ふくろう大学演劇講座
- 7/ 5(水) 誕生会
- 7/ 9(日) そうめん流し・地域交流会
- 7/12(水) 手話講座
- 7/13(木) 回想法
- 7/15(土) ふくろう大学書道講座
- 7/19(水) ふくろう喫茶
- 7/26(水) すいか割り
- 7/28(金) ふくろう大学料理講座



▲八浄寺で住職の岩坪隆海様より法話

令和5年度第1回社会生活教室(5/13) あなたにごほうびあげたい ♡

「身・心の裕福」を授ける大黒様を祀る八浄寺で法話をお聞きし、午後は一人ひとりが自分について頑張っていることや良さを語り合う時間となりました。

淡路聴覚障害者
センター 便り

洲本市港 2-26
洲本市健康福祉館 3階

八浄寺では、「大黒様は、大きな袋に良いこと、悪いこと、よこしまなことなど全部入れます。そして打出の小槌をふり、良いものだけを出し、皆さんに幸せを与えてくれるのです」とのお話をお聞きしました。



▲「あなた、こんないいことあるよ」と盛り上がる

午後は、「一人ひとり得意なこと、良い面をお話ししましょう。相手の良い面を探しましょう。」と交流がスタート。初めは「何もない。言うことない」と引つ込み思案で自分のことを話すのをしり込み



「夫の健康のため、昔の祖母の料理を思い出しながら工夫している」

また「ドライブが趣味」と淡路の有名な所を紹介してくれたり、「スポーツティでおしゃれね」と褒められた方は「学生の時に、水泳や卓球で表彰をよく受けていた」など、それぞれが、今まで知らなかった得意面があることが分かり、一人が話したたびに「すごい



「職場で働いていると声をかけてくれたり、人と関われるのが嬉しい、

していた参加者もだんだん雰囲気慣れてきて、話がはずみ、場が盛り上がりました。



夫から「病気で大変な時に妻に非常に助けられ、今も

拍手や感嘆の音があがりました。



動を頑張っている、など誇らしげに自分のことを語

手話通訳者養成講座Ⅲ開講

令和5年度手話通訳者養成講座Ⅲ【5月16日～7月25日(全10回)】洲本市健康福祉館で開講しました。昨年、一昨年と養成講座Ⅰ、Ⅱと受講された内の5名の方が受講されています。これまで学んできたことをふまえ、主に通訳現場の実践を通じたカリキュラムで学びます。

講座では「通訳者の倫理」について受講生と一緒に確認し、振り返りをしました。講座終了後には、12月の全国手話通訳者統一試験も控えています。

受講生に意気込みをお聞きすると「手話通訳者になって新しい世界がみたいです」と話されました。合格目指して頑張ってください。(楠本)

車の運転をできている。」妻は「夫のサポートを頑張っている」とお互いを褒め合っている。おかげで今は2人色々楽しめる。今の仕事や作業所への通所、団体の活

(辻)

トライやるウィークの生徒が菓子パン作りに挑戦しました!

中川原高齢者・障がい者地域 ふれあいセンター



☎ 656-0002
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2
TEL 0799-28-0990
FAX 0799-28-0992



今年度も5月22日(月)～26日(金)5日間、トライやるウィークが実施され、洲本市立洲浜中学校より2年生の男子生徒が2名、おのころ屋に来られました。

初日はとても緊張されていた様子でしたが、色々な作業に積極的に取り組まれ、移動販売にも一緒に行き、「学校よりも楽しい」と話されています。移動販売はとても忙しかったですが、計算が終わった商品を袋に入れたり、お客様への対応もしっかりとできていました。



手話にも興味を持たれ、自己紹介や簡単な単語もすぐに覚えられました。パンの成型には苦戦していましたが、利用者さんとも「ありがとうございます。」「お疲れ様です。」等手話にて挨拶を行っていました。

トライやるウィークは大変な一面もありますが、色々な事に気づかされ、刺激を受けます。利用者さんにとってもいつもとは違う経験ができたのではないかと思います。今後の支援にも生かして行きたいと思えます。

(職業指導員 山田裕美)

ひょうご聴障ネット

総会に参加して

5月14日(日)、神戸市立長田区文化センター3階大会議室で総会が行われ、模擬店出店のため6名が参加しました。

講演では、優生保護法や交通事故による逸失利益のことなどもあげられており、社会情勢はまだまだ厳しい状況にあると感じました。

また庄崎隆志さんの獅子舞は、頭や胴体を上下に動かし、本当に獅子が舞っているかのようでした。

講演後にはおのころ屋の焼き菓子とおのころ屋の玉ねぎや手作り雑貨などを販売しました。



▶獅子舞を披露する庄崎氏

第2弾 淡路たまねぎ(ターザン)生産直売!

自然の風を利用してゆっくりと乾燥された玉ねぎ。淡路島は日照時間が長く、とても甘く育てられました。美味しい「ターザン」をお届けします。

○申込期間:令和5年6月15日~7月31日

連絡方法:FAX・TEL お待ちしております。

TEL 0799-28-0995 FAX 0799-28-0992

希望	重さ	価格	送料	箱数
	5kg	1,200円	930円~	
	10kg	2,000円	1,200円~	

申込者:

お送り先	ご氏名:
	ご住所: 〒
	ご連絡先:

※6月より送料値上げとなります、ご了承の程よろしく願います。



ました。しかし、天候も悪かったこともあり、参加者が少なく売れ行きはいまいちでした。

利用者の巖さんは、知り合いの方々にも久しぶりにお会いできてとても嬉しそうでした。

これから行事やイベントで顔を合わせてお話しできる機会が増えていくと思うとワクワクします。

(支援員 興津典子)

神戸長田ふくろうの杜

兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目3の14の1

〒653-0836
電話 078-798-7940
FAX 078-798-7941

あなたがいつなかりを

ふくろう食堂

地域に住む食堂の常連お客さまのAさまは、自分が病気をしてから外に出することもなく、楽しみがない中、ふくろう食堂が配達する一日2回のお弁当が楽しみだとおっしゃっています。

また、定期的にとどのような食事がいいのか、リクエストを聞いたりしますが、とにかく「おいしくいただけると」とのことです、私たちもうれしく



神戸平野ふくろうの樹祝2周年!

開所して今年の6月1日で2周年を迎えることができました。2年目に入って「地域とともに」という課題に向けて、「野菜販売(昨年9月から)」「お話し会(今年1月から)」を開催しました。野菜販売は、淡路から直送で毎月20名以上のお客さまに来ていただき、地域に定着してきています。お話し会では地域包括支援センターの職員や近隣自治会の協力もいただきながら地域の方に来ていただけるように働きかけを行っています。

これからも入居者それぞれの課題に向けた支援と地域で共に暮らすための支援を行いながら、楽しい暮らしづくりが出来るように努力していきたいと思っております。(神戸平野ふくろうの樹 竹原)



◀ 駐車場でバーベキュー。キャンプ気分です。食欲アップ!

思います。食事の配達だけでなく、Aさまの家で出たごみを捨てに行くなどのお手伝いもさせて頂いていただいているのですが、「本当に助かります」「自分に何かあったら助けてね」と涙ながらに話されます。これからも時間を見つけては、Aさまと色々お話しし、物質的なつながりだけでなく、精神的つながりの提供の場という意味に加えて、地域のサポートという使命も果たせられたいと思っております。(就労継続支援B型 松本恵子)

人事異動(6月1日付)

神戸長田ふくろうの杜

○就労継続支援B型・

生活介護

サービス管理責任者

竹原 哲章

○神戸平野ふくろうの樹

管理者 長澤 理佐子

神戸事業所職員募集

事業：就労継続支援B型事業所・生活介護 もしくは 神戸平野ふくろうの樹(グループホーム)

資格：サービス管理責任者 1名

※ 詳細はお気軽にお問い合わせください
(社福)ひょうご聴覚障害者福祉事業協会

神戸長田ふくろうの杜 担当：眞木

TEL 078-798-7941 Fax 078-798-7941

急募